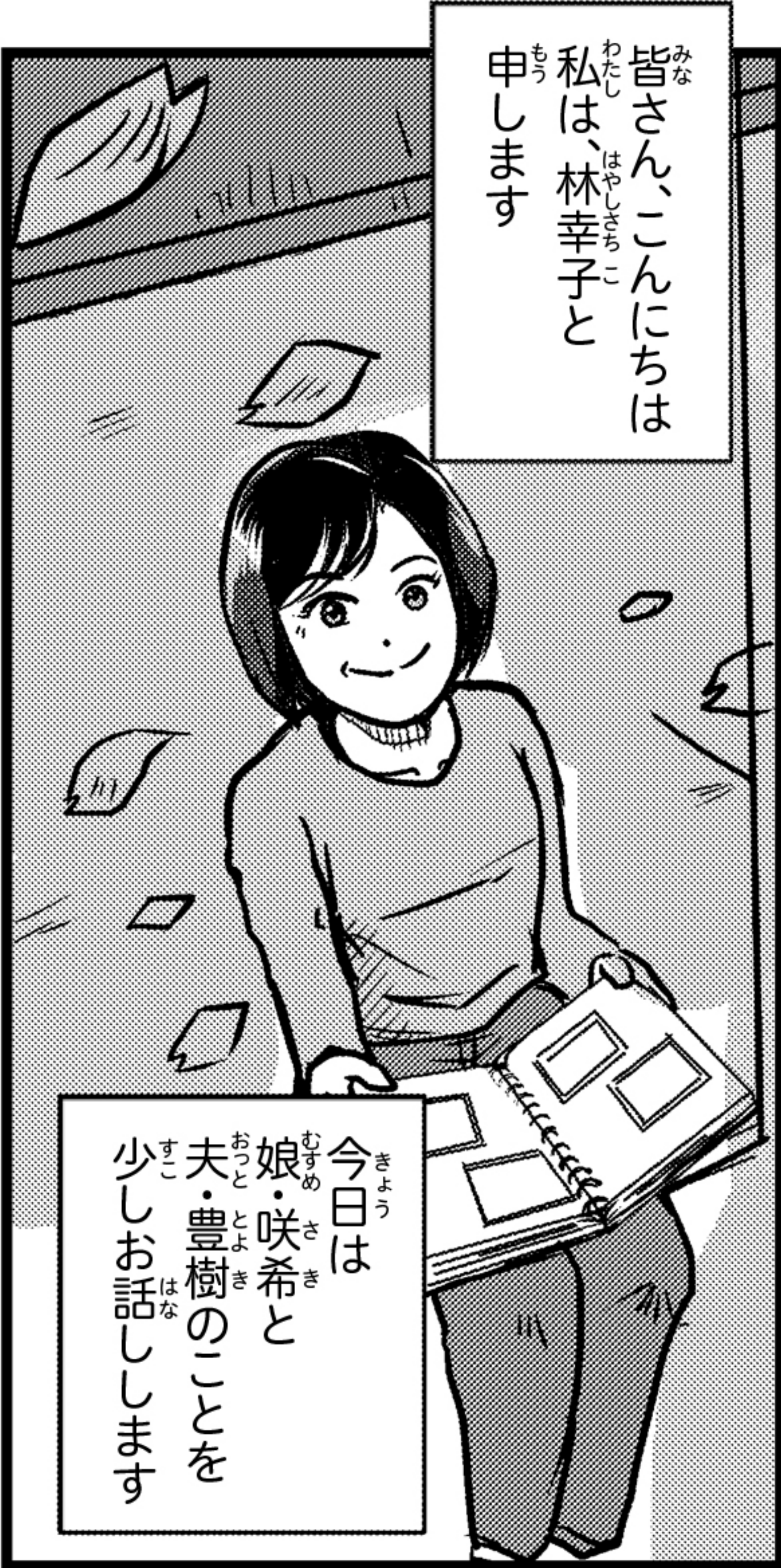


第1章 起

語り 林 幸子

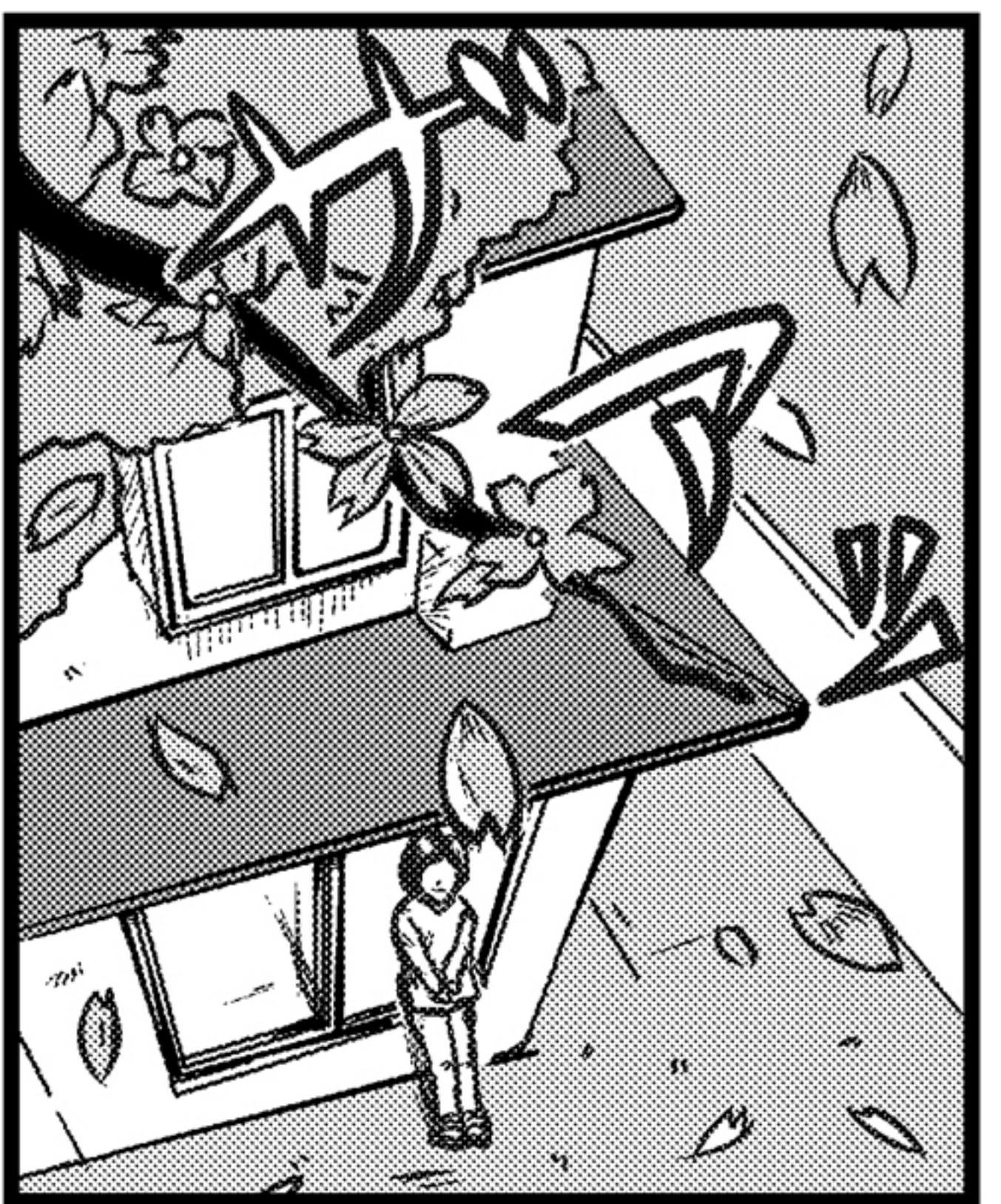


平成7年3月16日
咲希は林家の
三女として
生を受けました



皆さん、こんにちは
私は、林幸子と
申します

今日は
娘・咲希と
夫・豊樹のことを
少しお話します

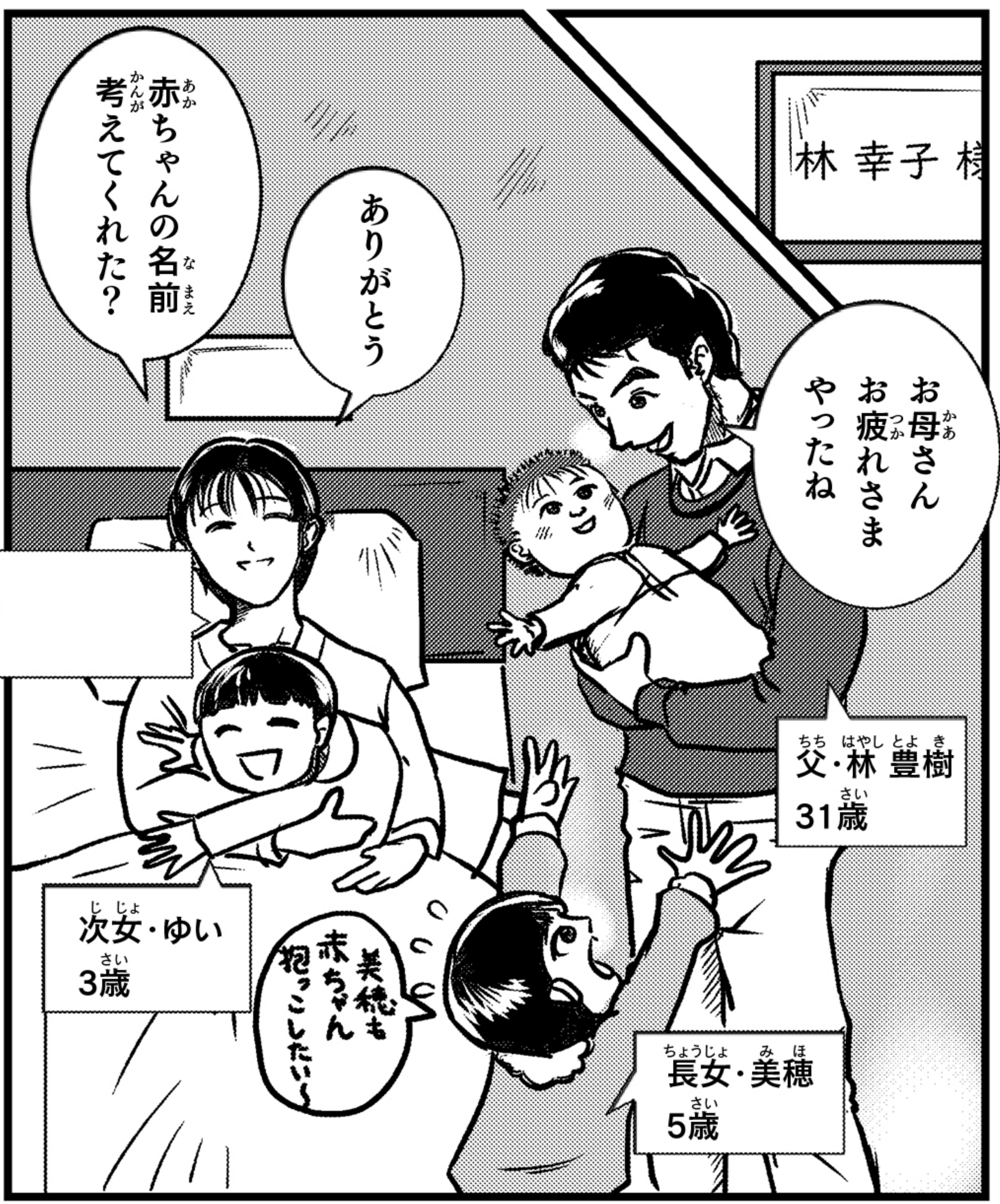


おぎやあ
おめでどう
ございます!
元気な女の子
ですよ



ああ!
咲希って
名前どうかな

希望の花が
咲くように。
周りに希望を
与えられるように
って意味も込めて



林 幸子 様

ありがとう

赤ちゃんの名前
考えてくれた?

お母さん
お疲れさま
やったね

父・林 豊樹
31歳

長女・美穂
5歳

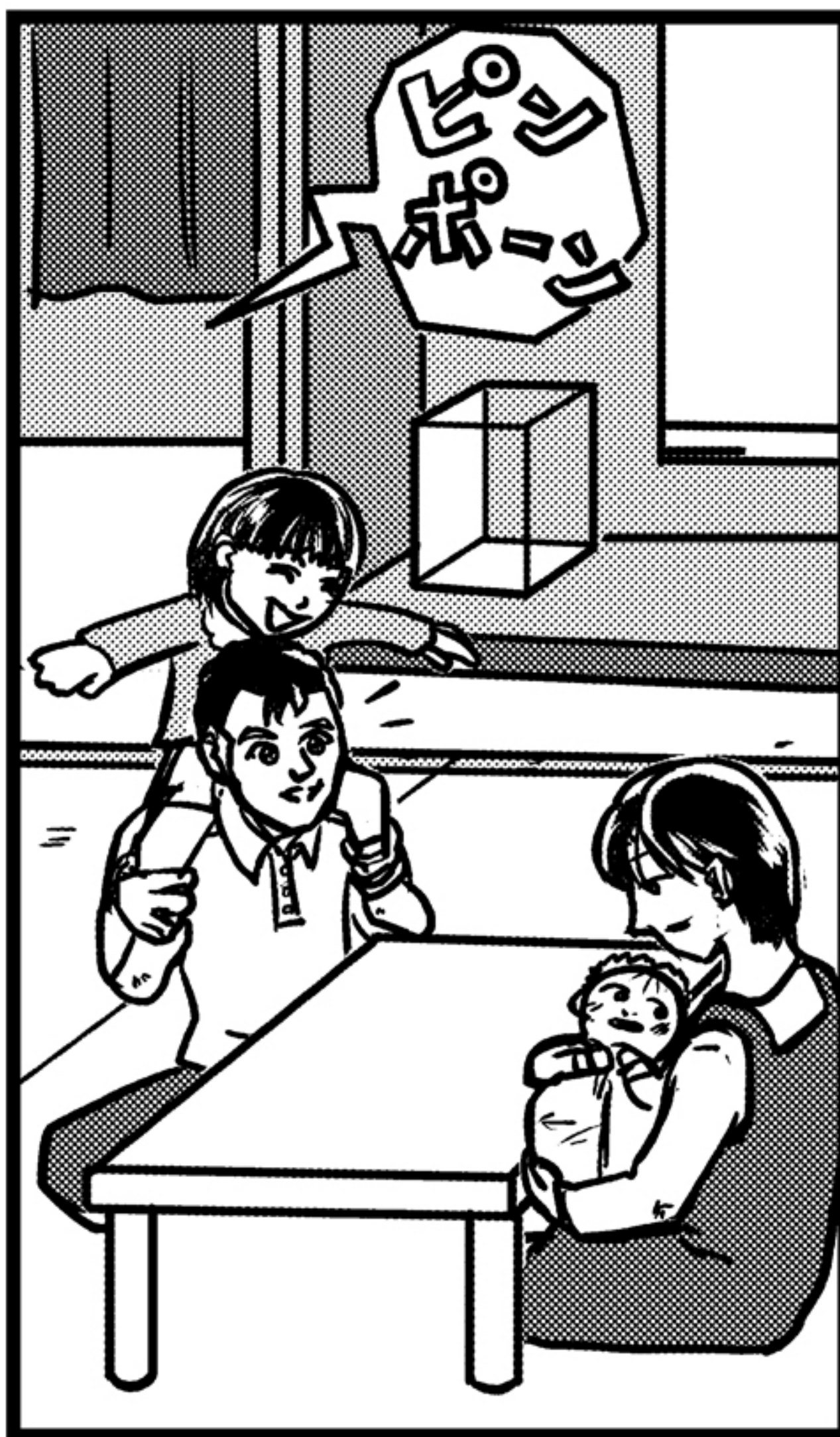
次女・ゆい
3歳

美穂も
赤ちゃん
抱っこしたのよ



咲希...
とてもいい名前
じゃない

数週間後
林家



豊樹さん
また出かけるの

お母さん
すまん!

えー!!

幸子さん
美穂ちゃん
ごめんね



夕飯までには
戻るけん
行つてきます!

やれやれ
どこで
何をしているのやら

岡崎さんの誘いで
豊樹さんは、地元・雷山に
ミニバスのチームを
立ち上げようと
奔走していました



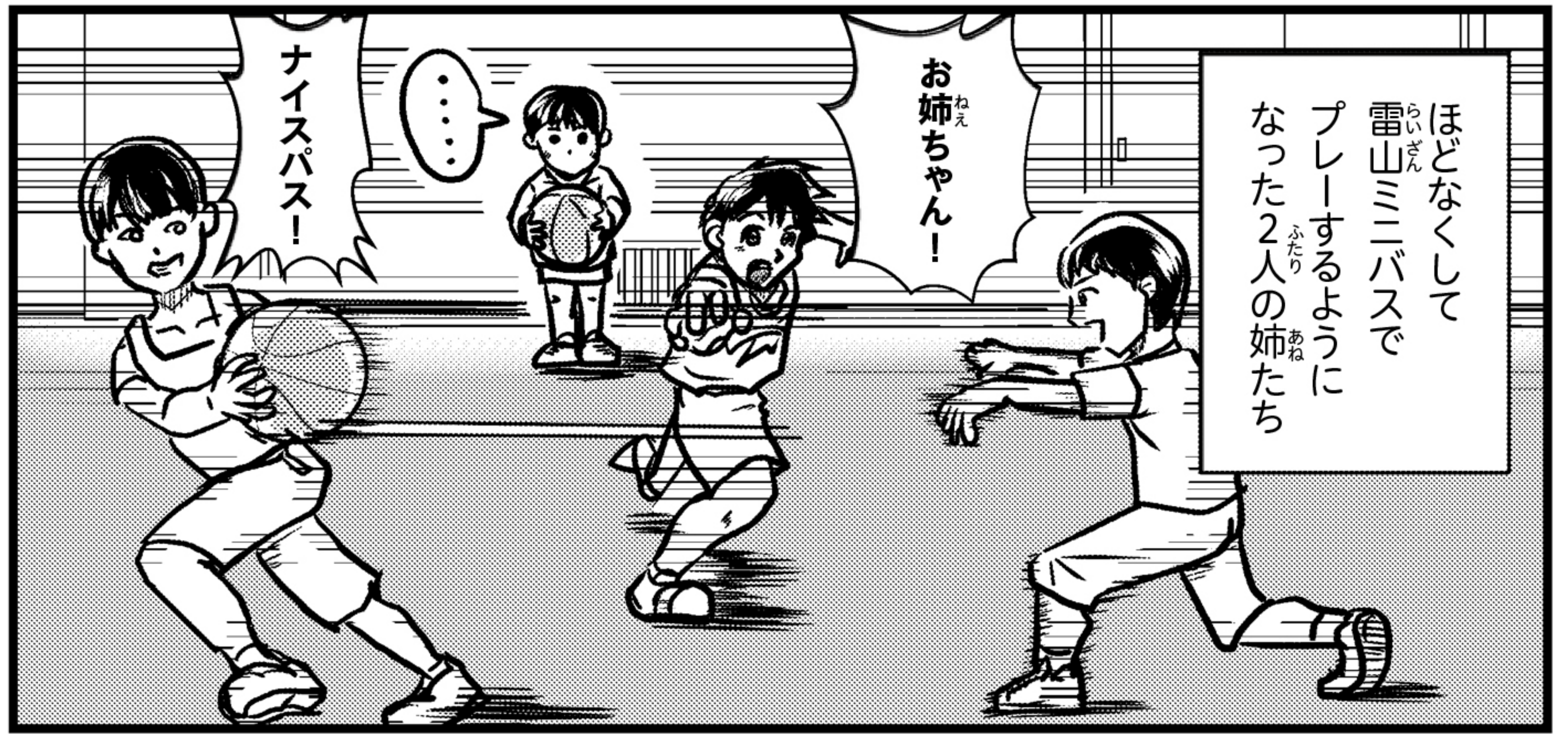
このことが
咲希の人生にも
大きな影響を
与えること
なるのです



そうして立ち上がった
雷山ミニバスには
多くの子どもたちが
通うようになりました

次、ダッシュ
& バックラン

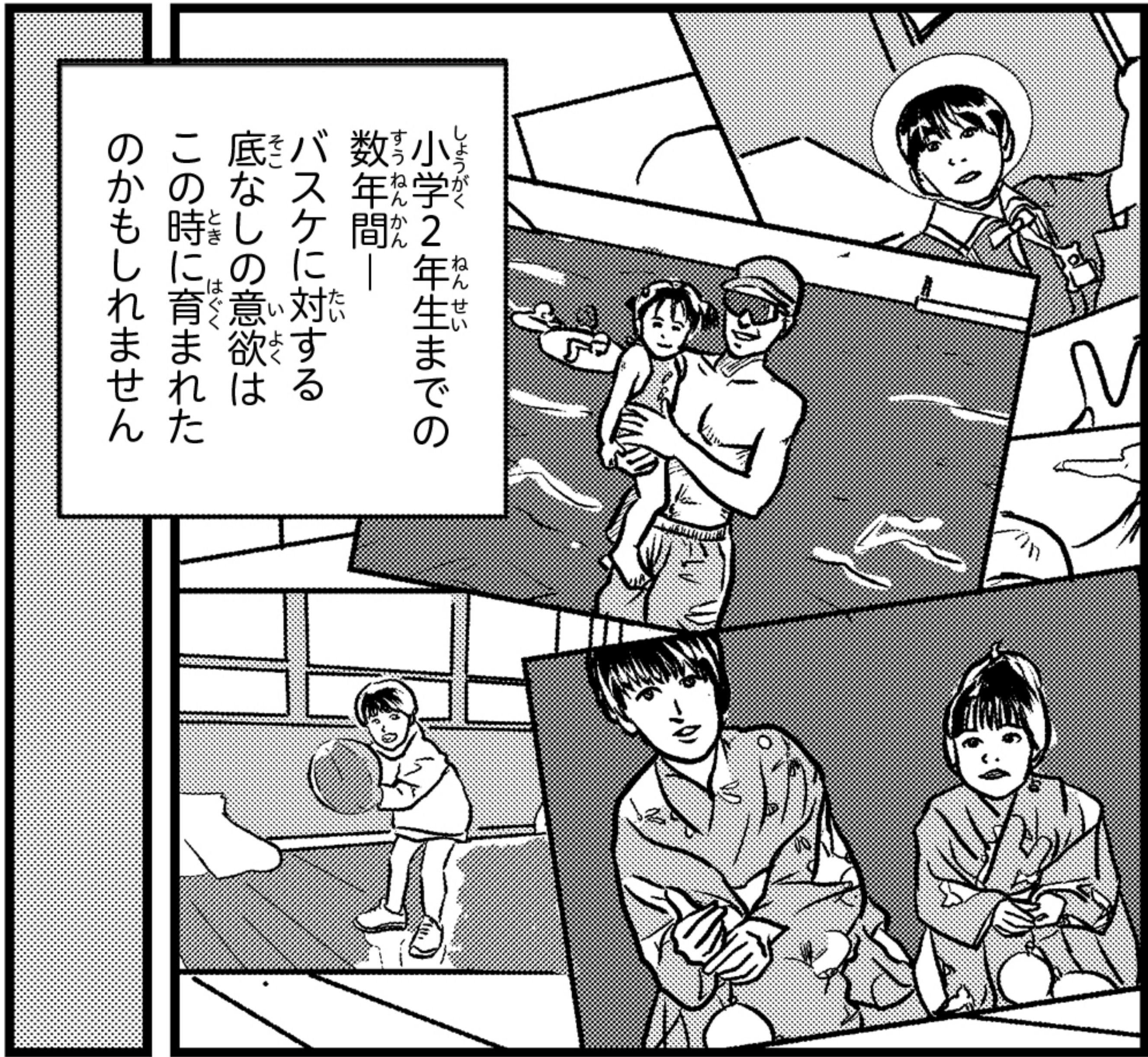
雷山ミニバス
指導者 古賀 隆二



ほどなくして
雷山ミニバスで
プレーするようになった
2人の姉たち

お姉ちゃん!

ナイスパス!



小学2年生までの
数年間—
バスケットに対する
底なしの意欲は
この時に育まれた
のかもしれない



まあまあ
もう少し大きく
なるまでの
我慢よ

サキモ
バスケットしたい



バスケットが
うまくなります
よーに！

オリンピック
に出られます
よーに！



毎日、登校途中に
家から2キロ
離れた神社に
立ち寄るのが
日課でした



小学生の頃から
とにかく
よく走る子
だった咲希

行って
きまーす！

あ、
気を付けて
行くときよ



は！
咲希ったら
カバン
忘れてる!!

がーん



監督と選手として
褒めたり叱ったり
泣いたり笑ったり
の5年間を
共有しました

泣くなー
咲希!!



こうして咲希は
雷山ミニバスに入団
バスケットの道を
歩み始めたのでした

ユニフォーム
ぶかぶか



よーし！
咲希
よく頑張ったな

本人曰く
『うまくなったときの
喜び』はこの頃
覚えたそうです

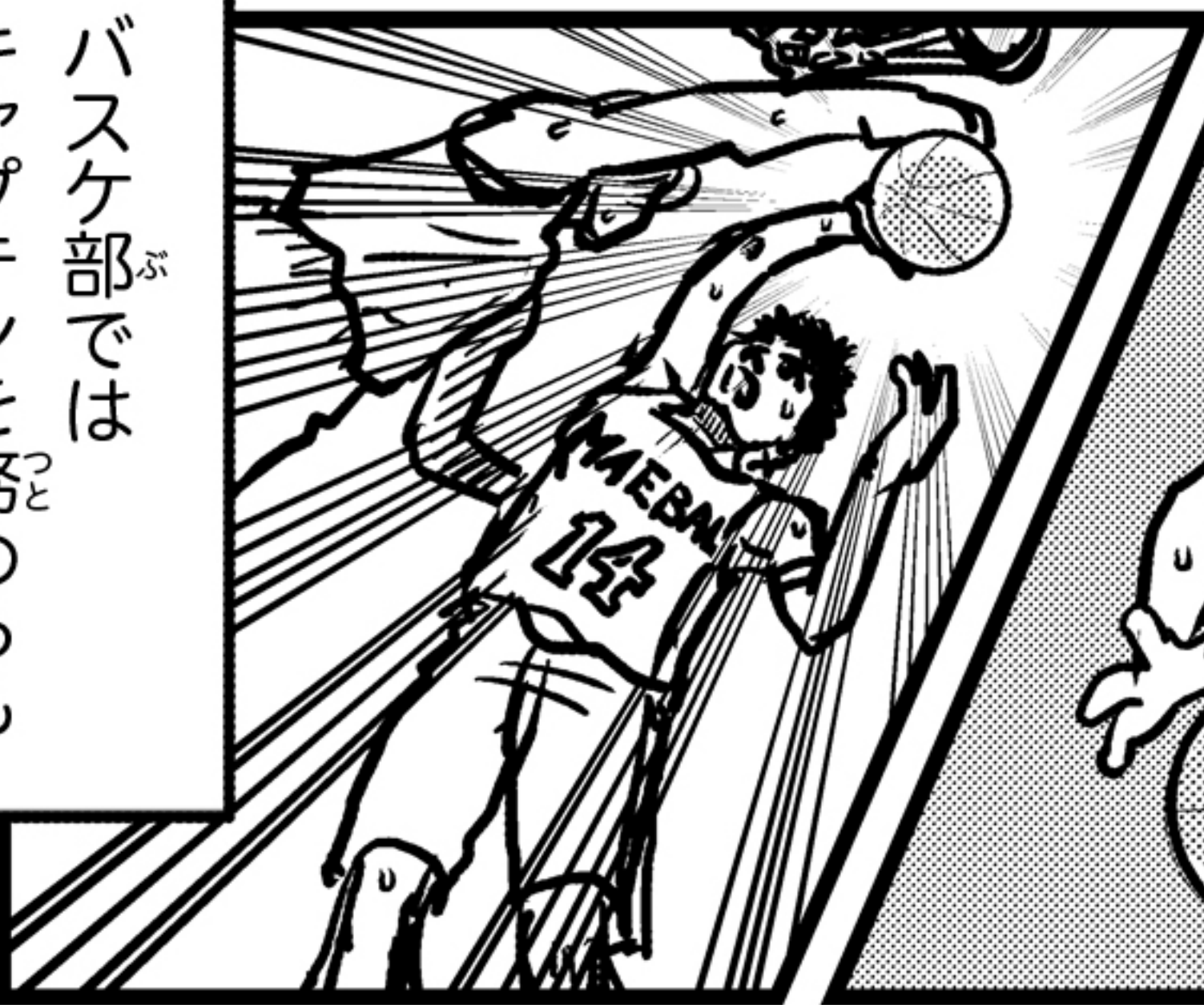


そこ！
戻り遅いぞ！

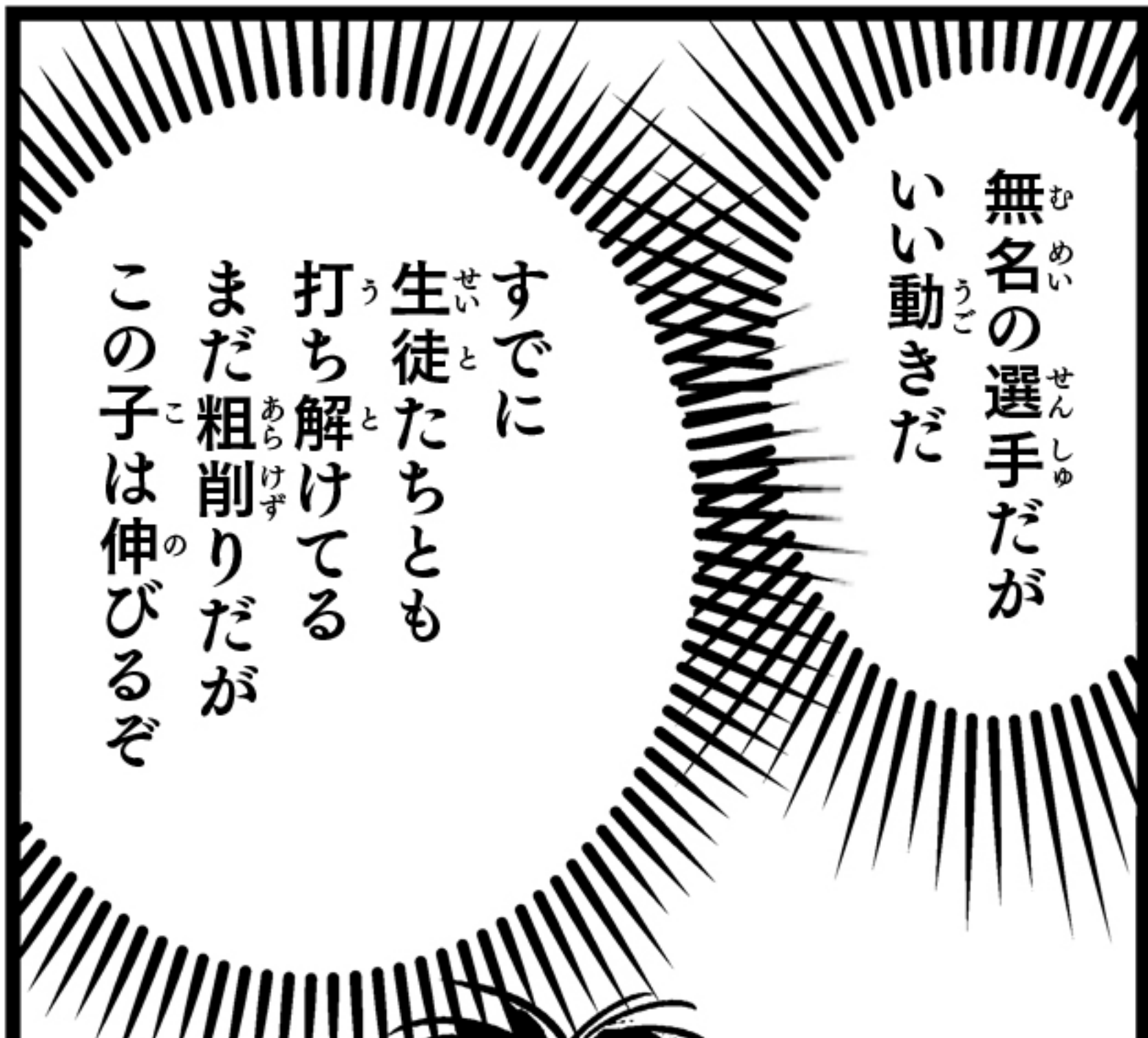
豊樹さんは
私情が入るからと
男子を教えて
いましたがー



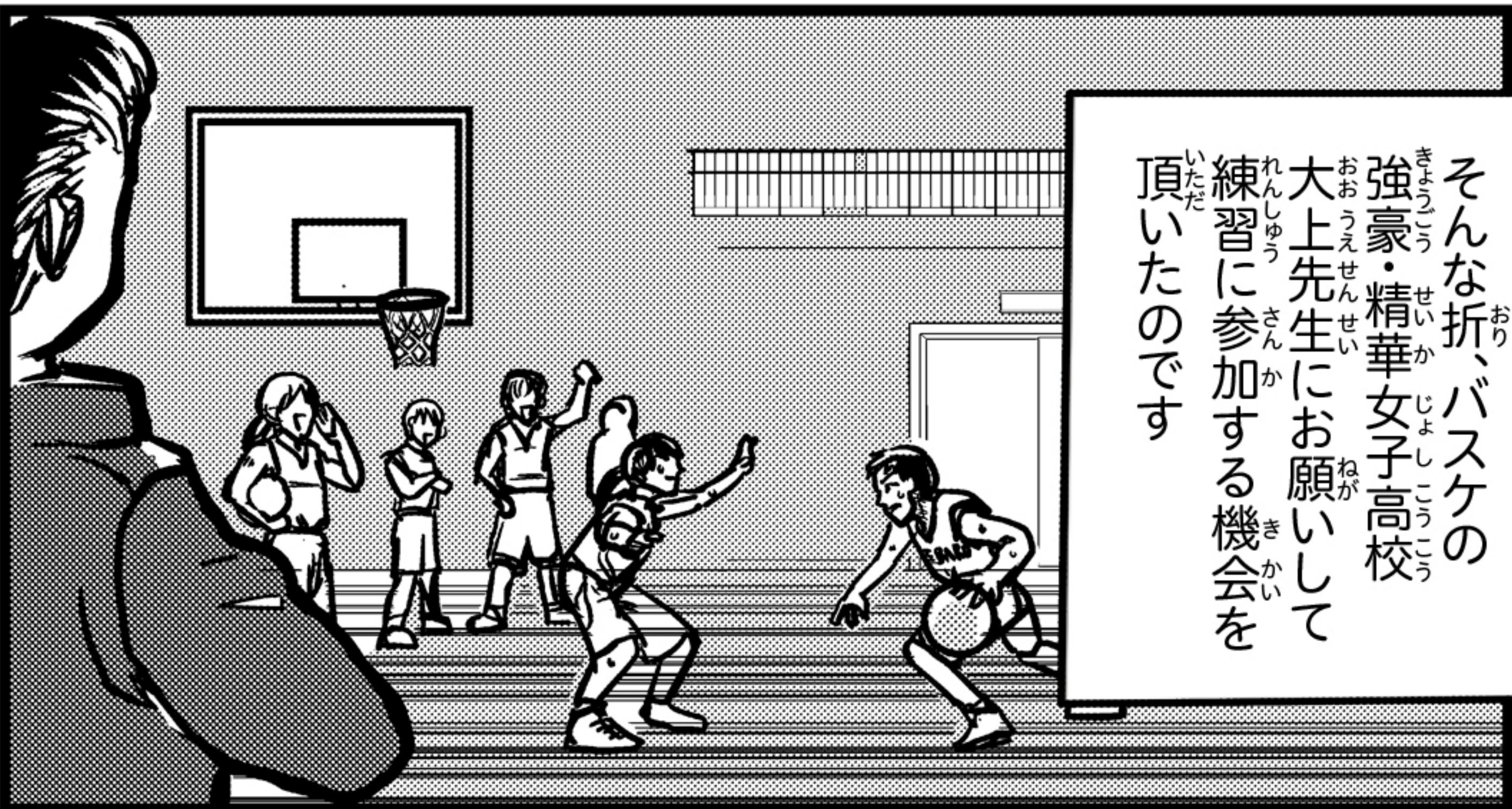
バスケット部では
キャプテンを務めるも
大会で良い結果を
残すことは
できませんでした



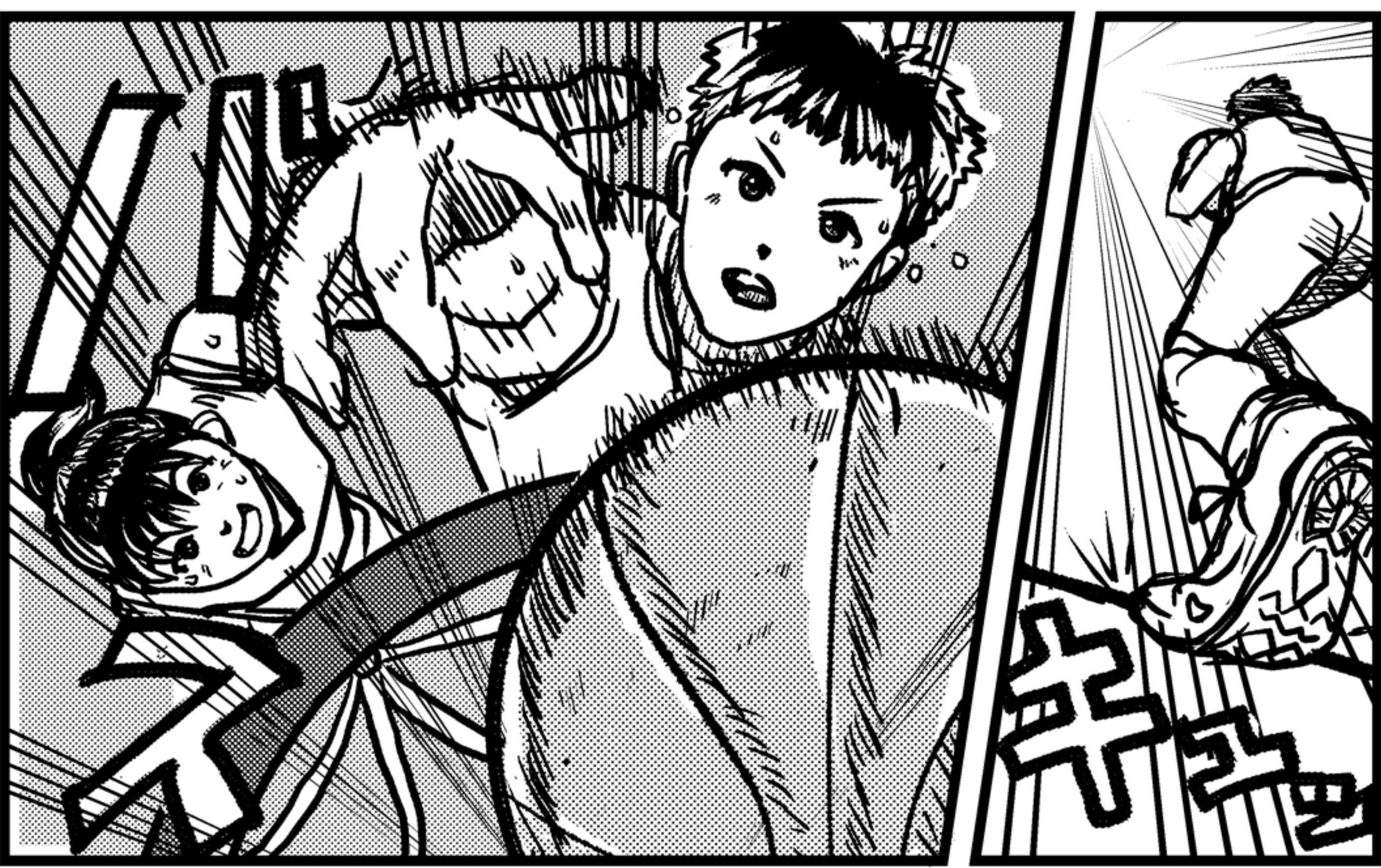
やがて進学した
前原中学校でも
3年間
バスケットに打ち込んだ



せい か じょ し こう こう
精華女子高校
バスケットボール部
おお うえ せい じ かん たく
大上 晴司 監督



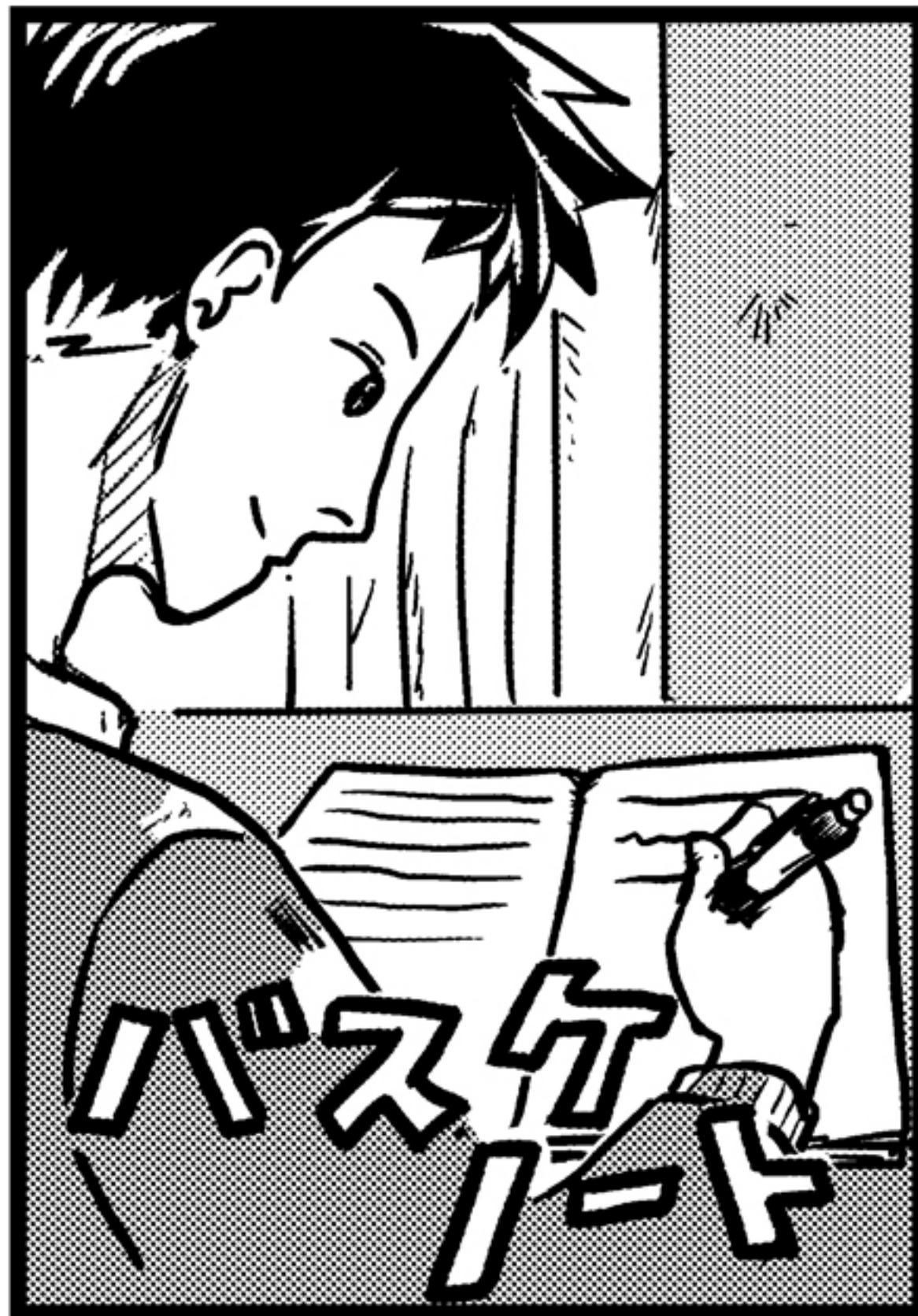
そんな折、バスケットの
強豪・精華女子高校
大上先生にお願いして
練習に参加する機会を
頂いたのです



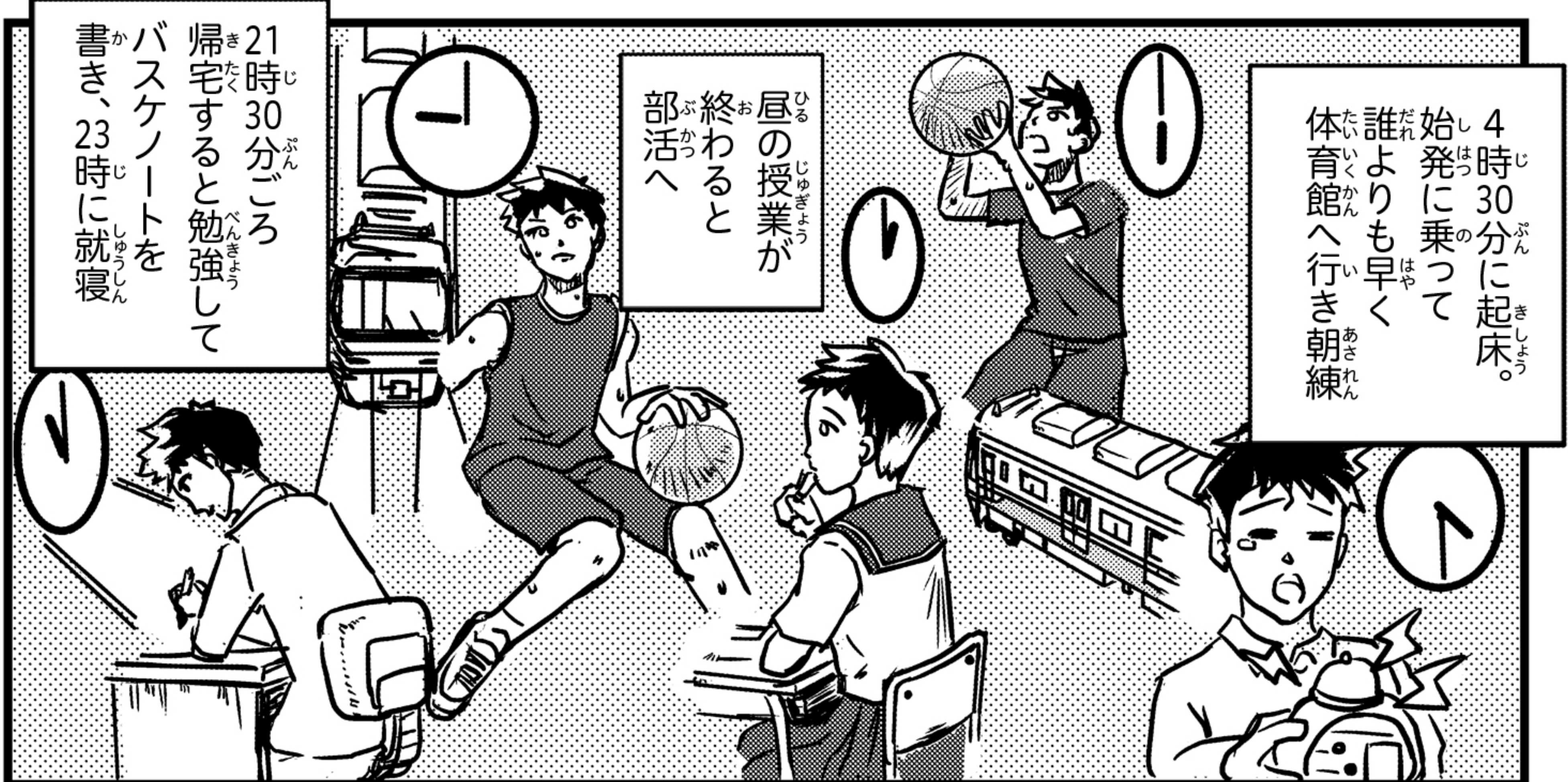
せい か じょ し こう こう
精華女子での生活が
スタートした
のでした



咲希さん
よかったら
うちに
来ませんか
ホント
ですか!?



自主性を尊重する
大上先生の教えを
咲希はぐんぐんと
吸収していきました

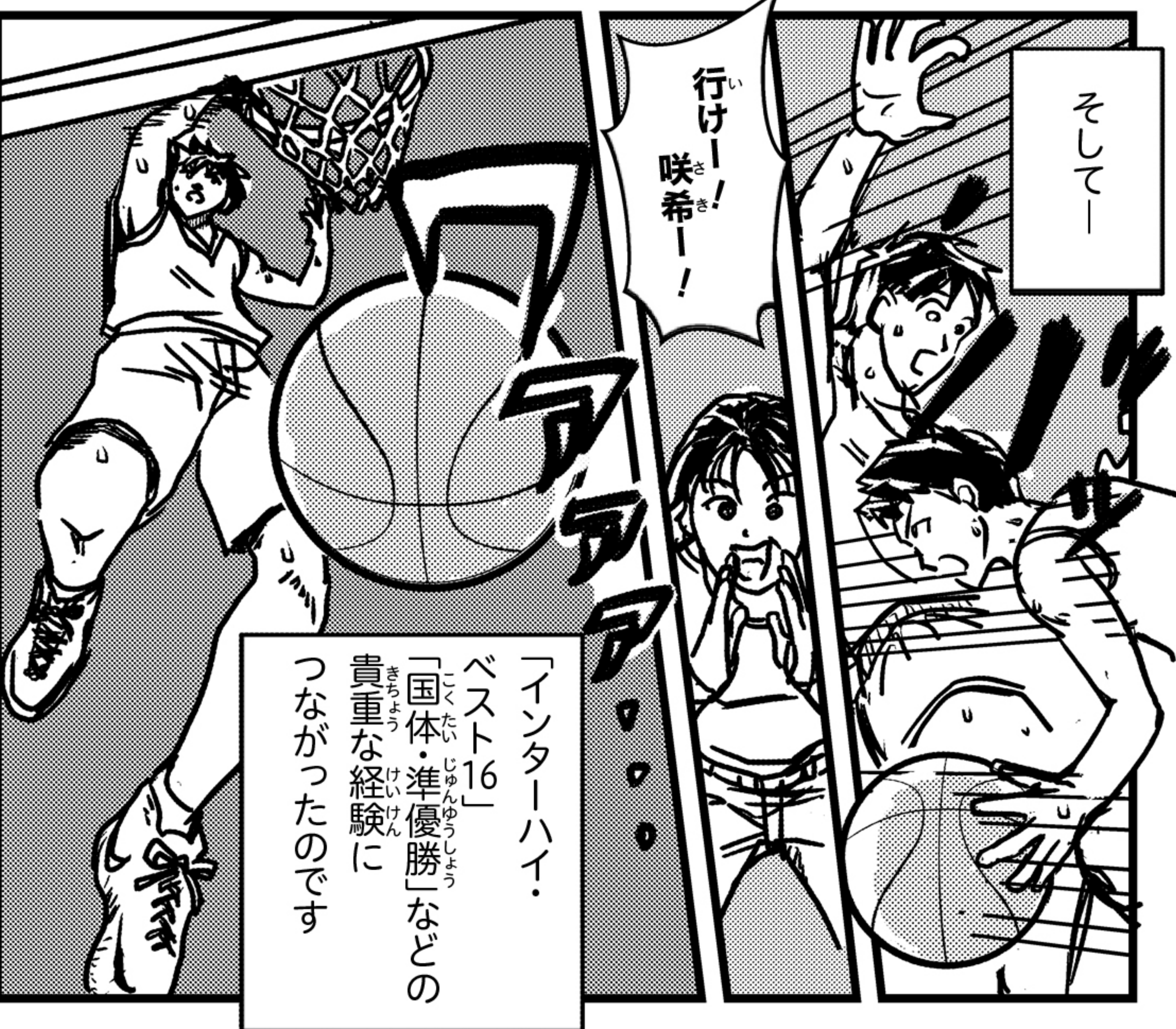
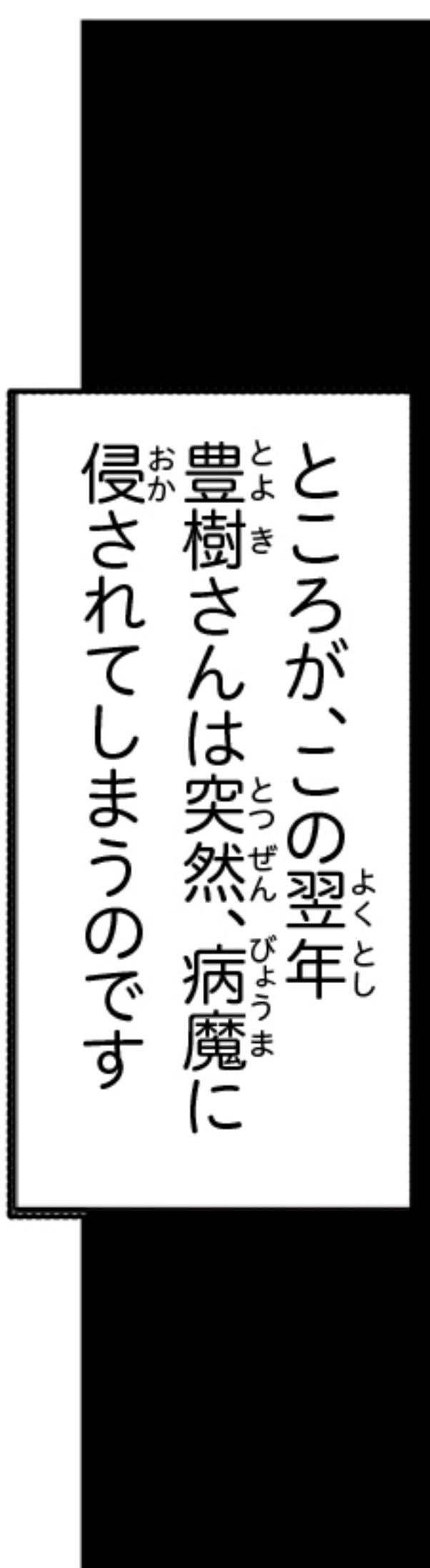


21時30分ごろ
帰宅すると勉強して
バスケットを
書き、23時に就寝

昼の授業が
終わると
部活へ

4時30分に起床。
始発に乗って
誰よりも早く
体育館へ行き朝練

これを3年間
やり遂げました
母も
大変でした
LEVEL
UP!
UP!
UP



ところが、この翌年
豊樹さんは突然、病魔に
侵されてしまうのです

一方、
週末はミニバスの
試合で応援に
行けない豊樹さん
晩酌しながら何度も
ビデオを観ていました

「インターハイ・
ベスト16」
「国体・準優勝」などの
貴重な経験に
つながったのです